

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

現状認識

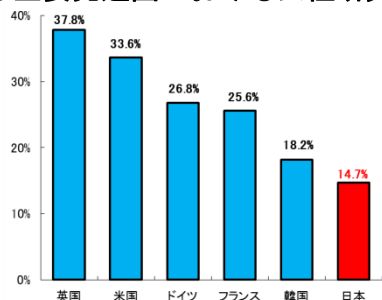
- 我が国の女性研究者数は増加傾向にあるが、その割合は、諸外国と比較して、なお低い水準。
- 研究者が研究活動を継続する上で、出産・育児・介護等との両立が困難。
- 研究者の業績評価に当たって、育児・介護に対する配慮が不足しているとの指摘。
- 結果として、女性研究者の上位職への登用が進んでいない。

●科学技術イノベーション総合戦略2015 (平成27年6月閣議決定)

第2部 科学技術イノベーションの創出に向けた二つの政策分野 第1章 イノベーションの連鎖を生み出す環境の整備

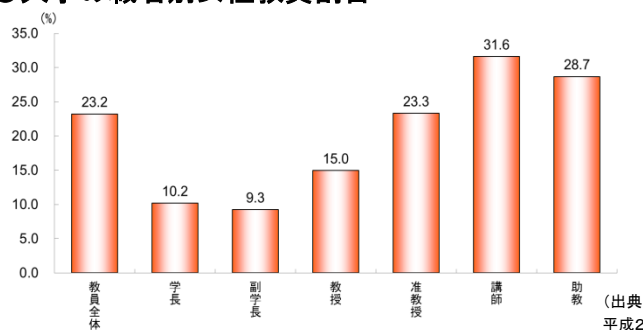
3. 重点的取組 (1)若手・女性の挑戦機会の拡大
- ・科学技術イノベーションへの参入を目指す女性のロールモデルとなるような女性リーダーの登用を促進するとともに、ワークライフバランスの実現のための支援及び環境整備を行い、女性が継続的に知的プロフェッショナルとして活躍できる環境整備に取り組む。

●主要先進国における女性研究者の割合



〈出典〉
総務省「科学技術研究調査報告」、
OECD“Main Science and Technology
Indicators”、NSF“Science and
Engineering Indicators 2014”を基に文部
科学省作成

●大学の職名別女性教員割合



(出典)
平成27年度学校基本調査をもとに文部科学省が作成

事業概要

研究と出産・育児・介護等との両立や女性研究者の研究力の向上を通じたリーダーの育成を一体的に推進するなど、研究環境のダイバーシティ実現に関する目標・計画を掲げ、優れた取組を実施する大学等を選定し、重点支援。

支援対象等

- 対象機関：大学、国立研究開発法人等
- 支援取組：単一の機関内での部局横断的な取組（特色型）や複数機関で連携し、地域や分野における女性研究者の活躍を牽引する取組（牽引型）を支援
- 補助金額：3千万円程度/年(特色型)、6千万円程度/年(牽引型)
- 実施期間：5～6年間（うち補助期間3年間）

支援メニューの具体例

大学・研究機関における体系的・組織的取組

【目標・計画の設定】

- ・研究環境のダイバーシティ実現のための目標(数値目標)、計画等の設定
- ・指導的立場における女性割合の数値目標の設定

【研究の継続・復帰】

- ・ライフイベント中の研究教育補助者やメンターの配置
- ・病児保育を含め学内保育所の設備整備・運営
- ・ライフイベント等により研究継続を断念した者等の研究活動の再開・促進の支援
- ・研究リーダーにふさわしい研究能力やマネジメント能力等の育成 等

【支援終了後の継続性】

- ・マッチングファンド方式などにより、支援終了後の自主的な継続性を担保

期待される効果

- 女性研究者が途切れることなくキャリアアップを図ることができる環境の整備。女性リーダーの活躍促進。
- 様々な視点を持った研究者が共に研究活動を行う環境が構築され、新たな研究開発成果が生まれることが期待